

報道関係各位

2024年4月11日  
株式会社インテージリアルワールド

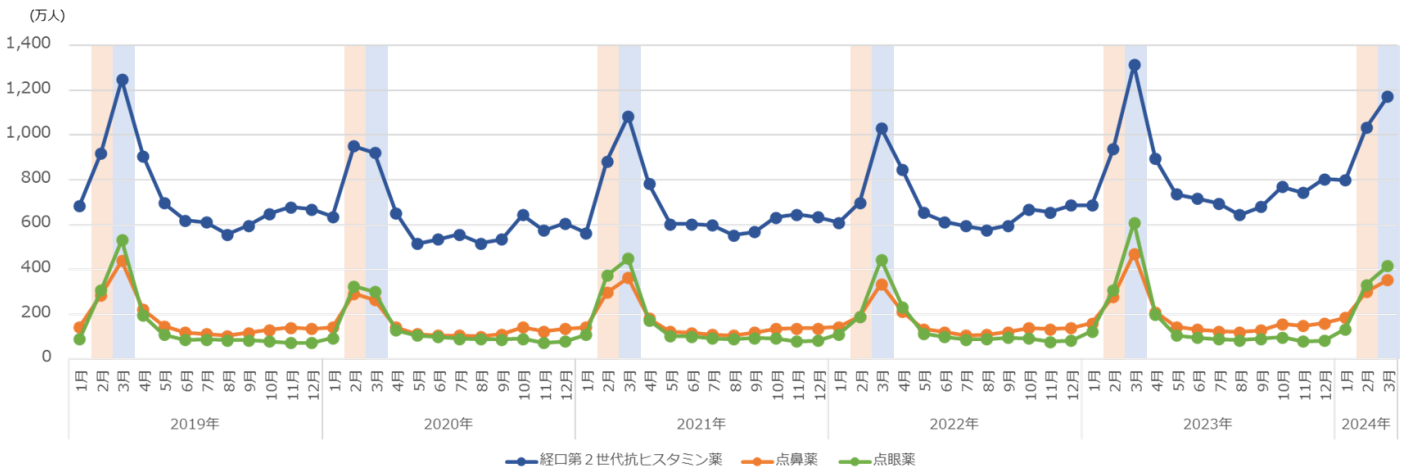
## 3月の抗ヒスタミン薬処方患者数は約 1,170 万人 2月は過去5年で最多

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の 2024 年 3 月データを基に、医療用医薬品の処方動向を調査・分析しました。

インフルエンザ 2023/2024 シーズンは 9 月に患者の増加が始まり 12 月に 200 万人を突破した後、減少が続いています。インフルエンザシーズンが終わる頃になると始まるのが花粉症シーズンです。環境省の調査では今年度のスギ雄花の着花量は過去 10 年平均値と比べると、同程度か、やや少なく（※）、過去 10 年で最も着花量の多かった昨年度を下回っているようですが、花粉症患者の動向はどうだったのでしょうか。今回は花粉症の状況を抗アレルギー薬の院外処方動向から分析します。

2024 年 3 月抗アレルギー薬の推計処方患者数は経口第 2 世代抗ヒスタミン薬(経口薬)約 1170 万人、点眼アレルギー薬約 420 万人、点鼻アレルギー薬約 350 万人となりました。前年同月比はそれぞれ 89%、68%、75%といずれも昨年を下回っていますが、2月の経口薬処方患者数は 2019 年以降最大となり、例年に比べ処方を受けるタイミングが早かったことが見て取れます。また、2023 年秋頃の経口薬処方患者数がコロナ前の 2019 年以降で最も多い水準(約 800 万人)となっており、例年であればスギ花粉シーズンが終わると約 600 万人前後まで減少する患者数が 4 月以降どこまで減るのか気になるところです。

### ■抗アレルギー薬 推計処方患者数推移（2019 年 1 月以降）



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

コロナ禍以降、インフルエンザをはじめとした感染症でこれまでと異なる処方動向を示すことが増えてきています。今回のアレルギーも 2023 年秋頃から例年と異なる動きをしており、コロナ禍以降の生活スタイルの変化が様々な疾患に影響を与えているのかもしれない。新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行からまもなく 1 年、今後もインテージリアルワールドでは様々な疾患の動きを医療用医薬品の「処方」で捉え、発信して参ります。

※ 引用：令和 5 年度スギ雄花花芽調査の結果等について

[https://www.env.go.jp/press/press\\_02568.html](https://www.env.go.jp/press/press_02568.html)

本件に関するお問い合わせ先

---

株式会社インテージリアルワールド ソリューション企画部 鹿島田

E メール: [pr-irw@intage.com](mailto:pr-irw@intage.com) Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

---

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールドは、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020 年 7 月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>